

カンボジア JICA 医療技術者育成システム強化 プロジェクト

The Project for Strengthening Human Resources Development System of Co-medical

A News Letter from JICA HRD Project No.32 Feb 2013

中間レビュー始まる

2月18日からプロジェクト中間レビューが開始されました。JICAのプロジェクト方式技術協力のほとんどは、それぞれのプロジェクトが Project Design Matrix (PDM) と呼ばれるプロジェクトの設計図を持っています。プロジェクトはそのPDMに沿って活動が行われています。中間レビューは、活動開始後2年から3年をめどに実施をして、これまでの

活動を振り返り、プロジェクト目標を効果的、効率的に達成するために設計図を見直し必要に応じて、活動の追加や削除を行います。プロジェクトにとっては、準備や実施を含めて少なからぬ労力を必要とする活動となります。当プロジェクトでは2月中にカウンターパートとの協議、勉強会や対処方針会議をつうじて、今回の中間レビューで合意すべき

課題は二つあると考えています。ひとつは助産規則への取り組みであり、もう一つは学士ブリッジコースとそれに関連する活動の整理です。専門家の思い、カウンターパートの願い、JICA本部や現地事務所の意見や国全体としての将来への展望等を総合的に見て、活動の削除や追加を行っていくこととなります。

看護規則ドラフト作成の動き

2月14日に保健大臣が保健省内のプロジェクト事務所を訪れ、看護規則ドラフトを直接大臣に渡すよう指示がありました。保健大臣からの直接の指示を受けて、プロジェクトでは2月22日に保健大臣に看護規則ドラフトを参照用として提出をいたしま

した。提出後、保健省上層部からの指示で、法務部長が看護規則ドラフトの体裁を整えるなどの作業を開始し、ようやく保健大臣の最終確認の段階に至ったと感じています。看護規則は政令レベルであり、首相が署名を行うこととなるので、保健大臣

の確認後、閣僚評議会に提出され、そこで審議をされることとなります。閣僚評議会での審議は、はやくとも4カ月程度はかかる予想されますが、プロジェクトとしてはこれからの一連の動きを注視して行きたいと思っています。

ブリッジ看護学士コース・カンボジア人留学生からの報告(No.19)

今回は3月末に14カ月の学業を終えて帰国をする、第2期生の報告をご紹介します。

Ms. Im Kuntheary
Nurse, at National Pediatric Hospital
2nd Batch of BSN Bridging

First of all, I would like to express my profound thanks to Cambodia's Ministry of Health and Japan International Cooperation Agency

(JICA) for giving the opportunities to health staffs to upgrade their knowledge and skills. I am one of the candidates who was selected for the 2nd Batch of Bridging Course of Bachelor of Sciences in Nursing (BSN) in Thailand for 14 months.

This is my first time that I came here; I often ask myself why I decided to come here to study in Saint Louis College, and how do I live here? It is very easy to an-



カンボジアの医療の現場から

シェア=国際保健協力市民の会
此原 麻希子

今回はカンボジアの保健医療分野での協力では長い歴史を持ち、いわば「草分け的な存在」のNGO、シェアの活動をご紹介します。

シェア=国際保健協力市民の会は、1988年からカンボジアの農村地域で、人材育成、保健センター等の公的保健サービスの強化、保健教育等の実施を通じて地域保健の改善に取り組んでいます。

今月号のニューズレターでは、当会がカンボジアの農村地域で行っている活動についてご紹介します。当会は、2008年からプレイベン州スバイアントー郡で母子保健の改善を目指した活動を開始しました。2011年からは、子どもの栄養状態の改善を通じた子どもの健康増進を目指し、予防、診断、治療の三本柱を軸に活動を実施しています（JICA草の根技術協力事業「子どもの健康増進プロジェクト」）。現在のプロジェクトで対象としているのは、2歳未満の乳幼児とその養育者です。主なカウンターパートは、スバイアントー郡保健局、郡保健局管轄下の5つの保健センター、保健センター管轄地域の79か村に配置された保健ボランティアで、これらの関係者と協力して活動を実施しています。プロジェクトの1年目には、対象地域に住む2歳未満の乳幼児1835名（対象人口の88%）とその養育者を対象にベースライン調査（身体計測と子どものケアや離乳食に関する質問票調査）を実施しました。その結果、431名（23%）が低体重児であり、その背景には離乳食の食べさせ方や病気への罹患に問題があるということが分かりました。この結果を基に、当会はカウンターパートとともに活動の詳細、活動スケジュールの策定を行いました。

診断活動

保健センタースタッフと各村に配置された保健ボランティアが協働で、各村で定期的に2歳未満の乳幼児を対象に包括的健診を実施するための支援をしています。対象地域ではこれまで保健センタースタッフが戸別に対象児の子どもの家庭を訪問し、予防接種を実施してきました。それを集合型にして、体重測定、マルチビタミン配布、病気や栄養不良児に対するアドバイスといった包括的な健診の実施に変えることで、保健センタースタッフが訪問した際に不在や病気等の理由で予防接種を受けることができなかった子どものフォローアップ、低体重や病気といったリスクの早期発見、養育者への健康教育が可能になりました。

予防活動

子どもの成長発達にとって、母親が妊娠してから生後24カ月までの1000日間で最も重要な期間とされています。ベースライン調査の身体測定の結果からも、生後9カ月以降に低体重の子どもの数が大幅に増加していることが分かっています。また今までの活動を通して、食べる内容だけでなく、養育者の食べさせ方や頻繁なお菓子の摂取に問題があることも明らかになっています。そのため、当会は保健センターと保健ボランティアが、子どもの栄養に関する十分な知識を習得し、養育者に対して離乳食教室や保健教育等の予防活動が実地できるよう、研修や実地訓練を通じた支援をしています。

治療活動

包括的健診やコミュニティにおける予防活動で発見された病気や栄養不良児の子どもが、適切な治療を受けることができるよう関係者と協力してフォローアップを実施しています。栄養不良児の子どもの早期発

見、搬送、病院やリハビリ施設での治療、退院後のコミュニティでのケアと一貫したフォローアップを実施するためには、保健ボランティア、保健センター、搬送先の連携が必須です。そのため、当会は支援体制の確立に向けて関係者間での定期的な情報共有、コミュニティリソースの確保、対象地域の保健セン



保健センターでの保健ボランティア会議（研修）



離乳食教室で子どもの栄養について話す保健センタースタッフ



包括的乳幼児健診で体重測定をする保健ボランティア

カンボジアの医療の現場から (続き)

タースタッフの診療技術の向上を支援しています。

コミュニティで予防、診断、治療の活動の実施、定着に向けて必要となるのは、1. カウンターパートの能力強化 2. カウンターパート間の協力関係強化 3. カウンターパート組織内のチームワーク強化です。特に難しいのは、カウンターパート間の協力関係強化です。包括的健診活動には、保健センターと保健ボランティアの協力関係が土台となりますが、両者で日程の調整、栄養不良児に関する情報共有が上手く

進まない村も多くあります。そのような現状を踏まえ、コミュニケーションを促すことを目的に、当会は情報共有や健診実施に係る課題を話し合う“場”の提供を支援しています。コミュニケーションの“場”として開催される保健ボランティア会議は、同時に、研修の“場”ともなります。保健センタースタッフから保健ボランティアに対して、成長モニタリングの結果（成長曲線や村の子どもの健診記録など）を記録するための能力強化育研修、保健教育の研修も本会議の場を使って実施されています。

子どもの栄養改善に取り組む上での難しさは、その背景が健康問題だけではなく社会要因にも関連していることです。出稼ぎに出ている家庭で養育者が高齢の祖父母や親せきのケース、貧困家庭のケースも多くあり、保健分野だけでなく他分野との協働も求められています。今後も関係者が「子どもの健康を守る」という目的を共有し連携できるよう、支援活動を続けていきます。

ブリッジ看護学士コース・カンボジア人留学生からの報告(No.19)続き

swer... there were smiles from teachers, staffs and students that are living in the dormitory. This had made me feel a bit warm. I learn Thai by sometimes speaking in Thai to them. I keep telling myself that I should study hard because this is the chance for me to gain more knowledge and develop my professional career.

In the paragraphs below, I would like to describe my study at college, and practicum at the hospital, and in community.

My Study at College

The second day upon my arrival, I was really interested in studying here, when Associate Prof. Puan-grat, and Dr. Salajit, Vice President, described and showed us around the campuses of the college. Saint Louis College's library is so beautiful, and there are many kinds of books to read.

In class, I study many subjects such as: Anatomy, Pathology, Physiology, Pharmacology, Nutrition, Psychiatric, Pediatric, Maternity, Practice in LAB, Community, Gerontology, Nursing Research, and Personality and Career Development. All subjects are very important for me, but the most interesting ones are Community, Psychiatric and Gerontology. Although they are a bit difficult for me, I still working hard on them. I often study in the library even on Saturday and Sunday as I have many assignments which need to be submitted. Therefore, I need to read more in order to gain more knowledge.

Practicum at Hospital

I was really astonished when I saw the role models of all preceptors

and nurses who work in the Hospital. Nurses take care of their patients in a friendly and gentle manner. The preceptors guide clinical students, including me and my friends, very closely all the time.



ブリッジ看護学士コース・カンボジア人留学生からの報告(No.19) 続き

They are open-minded to answer our questions even they are very busy with their work. Nursing Professions in Thailand is divided in to three groups: Group 1 is Registered Nurse, Group 2 is Practical Nurse, and Group 3 is Nurse Aide. Observation, interviews, and document analysis in hospital made me understand more clearly about nursing processes than before

In Community

The experiences that I acquired during practices at community are: How to set project in communication.

How to collect data from people and their family in the community on the following topics:

1. Pollution
2. High blood Pressure
3. Diabetic Mellitus
4. Smoking
5. Lack of physical exercise
6. Alcohol Drinking
7. Obesity
8. Hyper lipidemia

How to set the first priority in this community.

How to conduct health promotion to patient in the community.

Health assessment of students in the primary school.

All of these points above contribute to success in our community project.

Studying here teaches me not only lesson of nursing sciences, but also the life experience. I learned how to live far away from home and family. My little son has just turned to 4 year-olds and my father had a chronic disease and had just passed away during my study here. I was able to deal with and manage my study through the tough times.

Through the courses and practices, I learned a lot on how to be a model as a good nurse, and how share knowledge to my colleagues at workplace. I will definitely guide the students who come for clinical practices at my hospital with more confidence. Last but not least, my perspective and nursing knowledge is widened than before. The contribution of quality professional nurse is very important for patients, hospitals and country as a whole.

ホームページもご覧下さい。
<http://www.jica.go.jp/project/cambodia/004/index.html>



プロジェクトを取り巻く動き

- 2月5日 人材育成部長と協議
- 2月6日 中間評価勉強会、保健省テアクロイ次官と協議
- 2月13日 中間レビュー対処方針会議、人材育成部長と協議、UNFPAから情報収集、CEDHPから情報収集
- 2月14日 AUSAIDから情報収集、URCから情

報収集

- 2月15日 HRDD部長と協議、SLC関係者と協議、TSMC学士ブリッジコースに関する情報収集
- 2月28日 SLCに中間レビュー調査団訪問
- 3月7日 第3回JCC
- 3月14日 望月専門家離任
- 3月27日-28日 National Health Conference
- 3月30日 バチュラーブリッジコース第2期生帰国